

万延元年遣米使節より奉呈された
將軍徳川家茂からブキャナン大統領宛親書

うやうやしく亜米利加合衆国の大統領のみもとにまふす、

・謹んでアメリカ合衆国大統領の机下側近へ申し上げます。

さきに下田奉行信濃守源（井上）清直、目付肥後守藤原（岩瀬）忠震等に於せて、そのくにの欽差全権巴兒リスとはかり、むつひののりをさためてものうりかふへきちきりのしるしふみをあたへ江戸のつかさにいきかひせしむ、

・過日、我が国の下田奉行井上清直（きよなお）と目付（監査役）岩瀬忠震（ただなり）らに命じて、貴国の全権使節タウンゼント・ハリスと協議し、修好を結び、貿易の条約書を江戸の閣老に届けさせました。

いままたことに奉行豊前守源（新見）正興、淡路守源（村垣）範正、目付豊後守源（小栗）忠順等にちきりのしるしふみをもたしめて、華盛頓のつかさにいたらしむ、

・今また、特別に首席外国奉行新見正興（しんみまさおき）と次席奉行村垣範正（むらがきのりまさ）、ならびに目付（監査役）小栗忠順（おぐりただまさ）を代表として、条約批准書を持参し、ワシントンの国務長官へ届けさせます。

このときはめていたりふかくころいとねんころなり、かれこののちふたくにのしたしみもいよいよあつくましらひそ、よよへにかはらさるへし、

・この使節派遣を決定したことは、貴国の深く懇切なお心のゆえと思えます。以後、両国の友好関係はいよいよ増してゆきましようし、その心は世を経ても変わらないでしょう。

いまこのつかひみたりの於みはさうにえらひまけたるものにしあれば、ともにまごころをのへてことはかられ、

・今回、この三人の代表者はよく選抜した人材ですから、日米両国お互いに真心をもって事務を諮られたく思います。

よかしすへくしたしみをあつくし、またそのくにたひらけくやすけからむことをおもうにこそ

・良い未来を望み、互いの親交を厚くしたく思い、また、貴国が平和に発展されることを念願しております。

安政七年正月十六日（西暦一八六〇年二月七日）

源家茂（源氏の棟梁・徳川家茂）

